

A woman with dark hair, wearing a flowing purple dress, is captured in a dynamic dance pose. She is holding a long, translucent purple fabric that trails behind her, creating a sense of movement against a plain white background.

飯田みち代 リサイタル

CANTAR DEL ALMA

2025年9月5日（金）

開場 18:00

開演 18:30

電気文化会館コンサートホール

入場料

S席 ¥5,000（指定席）

A席 ¥4,000（自由席）

チケットはこちらの QR コードより
お求めください



プログラム

モンポウ作曲 魂の歌

夢の戦い

ドビュッシー作曲 抒情的散文

ベルク作曲 7つの初期の歌

マーラー作曲 リュッケルト歌曲集

飯田みち代(ソプラノ)

京都大学卒業後、声楽を引田リエ子氏に師事し、飯塚音楽コンクール大賞、日伊コンカルソ2位など数々のコンクールで受賞、留学後スザンナ・ギオーネ氏に師事。その後日生劇場40周年記念二期会50周年記念の「ルル」の主役に抜擢され、「歌唱力抜群で陰陽自在な発声で多層の女性像を魅力的に描き出す驚くべき才能」と絶賛され、数々のオペラの主役を務めた。日本のみならずドイツ、イタリア、ハンガリー、フランス、イスラエルなど世界各国から招聘され演奏し、常に高い評価を得ている。

井崎正浩(指揮・編曲)

ブダペスト国際指揮者コンクールで優勝して以来、日本のみならず、ハンガリー、ロシア、ドイツの主要オーケストラに招聘され、特にハンガリーでは国立歌劇場、ハンガリー主要オーケストラの客演に加え、ソルノク市の音楽総監督として、同交響楽団に貢献した。その功績が認められ、ハンガリー政府より金十字功労勲章(民間人に与えられる最高栄誉)、プリマ賞等、多く受賞、日本政府からも外務大臣表彰を受けた。その音楽は情熱的・抒情的・流麗で高い品格を保ち、国内外で常に高く評価されている。

19世紀後半から20世紀にかけて、世界に戦争の嵐が吹き荒れたでも、音楽は世界をつなぎだ

今再び、平和への祈りをこめて

波馬朝加(ヴァイオリン)

清水綾(ヴァイオリン)

柿本朱美(ヴィオラ)

河井裕二(チェロ)

谷脇友里恵(コントラバス)

百瀬愛莉(ピアノ)

